

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		studio koti (スタジオ コティ)		公表日 2026年2月2日		
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	お子様たちの来所時間はバラバラですが、1日のスケジュールを明確にし、時間で場所を区分けするなどして使用しています。	引き続きお子様がストレスを感じないよう配慮し、適切に使用できるよう努めます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	法令で定められている基準人員以上を常に配置しています。	引き続き継続し、人員が足りない状況などにあれば適宜補充するなどし、維持できるよう努めます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	活動スペースは絨毯やマットなどで色分けするなど、どこで何をするか視覚的にも分かりやすく構造化しています。	利用されるお子様の特性などを考慮し、必要に応じ事業所内全体を常に安心・安全に過ごせるよう配慮をいかさずしていきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	事業所内は毎日掃除を欠かさず行い、常に清潔感を保つようスタッフ一同心がけています。	引き続き継続し、常に清潔できれいな空間を維持できるように努めます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	限られたスペースの中、パーティションを使用するなど出来る限りスペースを確保しています。またクールダウンが必要となった場合は静養室にて個別に過ごすなど対応しております。	限られたスペースの中工夫をし、不自由を感じないよう環境作りを努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	支援内容は毎月1回、場合によっては複数回スタッフミーティングにて行っています。参加できないスタッフは電子データにて記録を確認し、必ず全員で共有するようにしています。	スタッフが固定メンバーのため意見は出やすい状況にあります。その中で意見内容自体に偏りが出ないようスタッフ一人ひとりの機微にも注意いたします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	アンケート結果はスタッフ全員に共有しております。	今年も前年のアンケート結果をすべて反映出来たわけではないので、一つでも多く改善できることは改善するように努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎月1回以上スタッフ全員で意見交換の場を設けています。	引き続き実施します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	実施していません。	今後も実施に向け検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所内の研修は毎月実施しています。本年度も引き続き希望者に「強度行動障害支援者養成研修」の外部研修の実施も行いました。	今後も事業所内研修に限らず積極的に外部研修を受けられるようにします。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	5領域を網羅した支援プログラムはHPにて公表しているのいつでも確認ができます。	全体の支援プログラムは公表しておりますが、お子様一人ひとりに合わせた支援を実施しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	スタッフ全員でお子様一人ひとりの特性を共有し、適切な支援が行えるよう常に考えて計画書を作成しています。	常に保護者様のニーズとお子様に必要な支援を考え最適な計画が立てられるよう努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎日の振り返りはもちろんのこと、月に一回事務所内で支援会議を実施し、必要な支援について話し合いを情報共有しています。	引き続き実施します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	基本的にはどのスタッフが対応しても同様の支援が行えるよう努めています。	スタッフの練度も上がっているため昨年度よりも向上していると思います。邁進せず引き続き精進いたします。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	アセスメントシートと事業者内システムを用いて項目ごとの評価、メモを記録しています。	引き続き実施します。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	事務所内定期研修にて放課後等デイサービスガイドラインの読み合わせを実施し、常に意識した支援内容を作成しています。	放課後等デイサービスガイドラインの読み合わせ自体が形骸化している部分もあるため、改善を検討していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	週間行事、月間行事とスタッフで話し合い各担当者を中心に活動内容を決めています。	引き続き実施します。

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	週ごとに違う集団プログラムを実施しています。また同じようなプログラムを実施する場合も少し「違い」を出し固定化しないよう工夫を凝らしております。	引き続き実施します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	児発管を中心とし、スタッフ全員で支援内容を話し合いお子様個々の活動と集団活動を計画し支援計画を作成しています。	引き続き実施します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝のミーティングではその日利用するお客様の支援内容を確認し、一日の体制を共有し可視化できるようスタッフ共有ツールにて記録も残しています。	引き続き実施します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日振り返りのミーティングを実施しその日の内容を共有しています。	引き続き実施します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	専用のソフトを用いて毎日の支援内容とお子様の様子を記録し、次の支援に繋げています。	引き続き実施します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年毎に保護者様と面談を行い、お客様の成長や課題の情報共有をし計画の見直しを行っています。	引き続き実施します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	限られた時間の中、可能な限り4つの基本活動のうち複数組み合わせ支援を行っています。	本年度は地域のイベントにも複数回参加し前年の改善にも具体的に組み込むことが出来ました。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	課題によってお子様自身の選択で参加不参加を決めるなど、自己選択する場面を与えるよう工夫しています。	集団活動においては得意不得意、やりたいやりにたくないなど、お客様の主張もあります。スタッフ間で誰が対応しても同じように接することができるようスタッフ個々の対応力をつけること、共有を怠らないことを日々意識します。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	相談支援事業所を介した会議や学校との会議には児発管を含めお客様の特性を十分に理解している常勤スタッフが参加しました。	今年度目標としておりました児発管以外の児童指導員の参加を実施することが出来ました。引き続き実施します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	事業所はいつでも連携が図れるよう体制を整えています。	本年度は学校との連携が複数回ありました。引き続き連携できる部分は連携し支援を実施します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校や学童との連携は取っています。送迎の引き渡しの際に何かあれば情報共有できるようにしています。	引き続き実施します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	可能な限り情報共有しています。	引き続き実施します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	-	-	-	該当するお子様はいませんが、今後機会があればしっかり情報共有します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8	-	必要に応じ研修を受ける機会を設けていますので参加を検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	地域のイベントに参加したり、災害時の訓練として引き続き起震車を事業所敷地内に誘致し住民との交流を行いました。	引き続き地域のイベントなど参加できるものには積極的に参加して交流を図ります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8	-	引き続き参加を検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者様とは連絡帳や送迎の際にお子様の様子を出来る限り伝えるようにしています。	引き続き実施します。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	希望される保護者様へのペアトレや、事業所で実施している療育をベースに家でも行える対応など必要に応じて助言をしています。	保護者様の希望や必要に応じてお声がけをし複数回実施しました。このまま継続します。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	ご契約前に出来る限り丁寧に説明をしています。	引き続き実施します。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	事業所全体で研修等にて重要性を確認し、保護者様とは連絡ツールアプリや、モニタリング、フィードバックの際にご意見をいただく機会を設け、確認しています。	引き続き実施します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	保護者様には事前にヒアリングを実施し、お子様は実際に活動している状況を確認し、支援内容を協議し作成しています。	引き続き実施します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	事業所内でのお子様の様子を伝え、家での過ごし方との違いなども確認し、出来る限りの助言をしています。	引き続き実施します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	8	-	引き続き保護者様の意見を参考の上、実施するかどうか慎重に検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情に対する体制は常に整えており、マニュアルもHP上で公開しています。	迅速な対応が取れるようスタッフ間で情報の共有はもちろんのこと、定期的に自体に備えた事業所内研修を継続して実施しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	活動の様子や、実施した療育の概要やスケジュールは専用のアプリにて発信しています。	引き続き実施します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に係る資料はすべて鍵付きのキャビネットにて保管し、取扱いについては定期的に事業所内研修にてその重要性を確認し、事前に漏えいに繋がらぬことは排除するよう努めています。	紙をベースとした資料を渡す際に人為的な部分でミスが生じる可能性があります。可能な部分においてはパスワードを付した電子的媒体で資料を提供出来ないか検討し、可能であれば実施します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	言葉だけでなく、仕草やヘルプサインを見落とさないよう注意しながら意思疎通を図り、一方通行とならないよう配慮を心がけています。	引き続き実施します。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	昨年同様、防災訓練にて事業所敷地内に起震車を招き、地域住民も参加出来るよう企画をし、多くの方に参加いただきました。	引き続き実施を予定しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	各マニュアルにおいてはHP上にも公開しており、スタッフ間では定期的に事業者内研修にて内容の確認をしています。	保護者様への周知は課題として以前残っております。解決策を検討し対応したいと思えます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	各マニュアルにおいて、災害時の対応や事業所の継続性についての意見交換や非常事態を想定した動きについて確認をしています。また、救護活動において最低限必要となる蘇生についての講習もスタッフ全員が受けています。	あくまで想定のごとくであり実際に起きてしまった時との乖離は常に考えた上で、落ち着いた行動が取れるよう日々の備えを継続します。事業所の営業においても情勢を鑑み、必要に応じ受け皿となれるように覚悟を持って取り組みます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	ご契約の際に必ず確認をしています。	引き続き実施します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	保護者様を介し事前に必ず確認を取り、おやつやお弁当の購入など、事業所内で取る食事には最大限注意をし、徹底したスタッフ間での情報共有をしています。	引き続き実施します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	各マニュアルをベースとした事業所内研修を計画的に実施しています。	引き続き実施します。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	お子様の様子など活動中の出来事を中心に気付いた点は保護者様に報告し共有しています。保護者様からもアプリやフィードバックの際にお子様の活動状況を聞いています。	本年度は意識的にフィードバックやアプリにて周知をしました。引き続き実施します。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎日ヒヤリハット報告書を作成しスタッフ間で共有しています。	引き続き実施します。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的な研修をし、その重要性については十分に確認しています。	引き続き実施します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	これまでに身体拘束を行う場面になったことはありませんが、こういった場合やむを得ず身体拘束を行うかについては事業所内研修にてマニュアルの確認をしています。	引き続き実施します。